

冬を彩るよこはま
花の祭典



第52回

横浜花き展覧会

シクラメンなどの鉢物は県下でも横浜を中心として栽培されており、質の高いものが生産されています。本展覧会では横浜で生産される冬の花の美しさを競います。一般公開もございますので、ぜひご来場いただき、冬を彩る市内産の花をご覧ください。

12月5日(火) 17:00～19:00 12月6日(水) 10:00～19:00 12月7日(木) 10:00～14:00

場所: 横浜市役所1Fアトリウム(横浜市中区本町6丁目50番地10)

主催: 横浜農業協同組合 共催: 横浜市環境創造局

後援: (公財)横浜市緑の協会、(公社)2027年国際園芸博覧会協会

お問合せ: 横浜市環境創造局農業振興課 TEL: 045-671-2637 FAX: 045-664-4425

横浜の緑を次世代に引き継ぐため、横浜市では横浜みどりアップ計画[2019-2023]を進めています。

※展示物に関しましては、販売は行わず公園等の市民利用施設で展示・活用します。

横浜みどりアップ計画



©IT00N/GN

JA横浜
Yokohama

ガーデンネックレス横浜
Garden Necklace
YOKOHAMA 2023

EVENT イベント

市内産の花及び花き展覧会のPRとして、下記の施設でも市内産のシクラメンをご覧ください。お立ち寄りの際は、是非お楽しみください。

商業施設・各区施設

西武東戸塚店(戸塚区品濃町537-1)
区役所・地域ケアプラザ・公園内施設等

展示期間

11月中旬～12月上旬(各施設の状況により、展示期間は変更となります。)

ACCESS 会場へのアクセス

みなとみらい線「馬車道駅」1C出入口直結

JR・市営地下鉄「桜木町駅」新南口(市役所口)より徒歩5分



COLUMN コラム

横浜の花とシクラメン

横浜の花の生産も開港とともに入ってきた西欧文化のひとつです。生活の中に花を取り入れる習慣をもつ外国人は花壇や室内装飾に花を必要とし、山手地区の洋館に日本で初となる温室が建てられました。当時は居留地の外国人を相手とした切り花の生産が主体でしたが、明治30年代後半頃から国内需要の増加に伴って横浜で花の生産が本格化しました。昭和20年代後半には若手グループによるシクラメン生産が始まります。戦後の経済成長とともに、シクラメンの需要も伸び、多くの花の農家で栽培がされるようになりました。現在、シクラメンは横浜の鉢花生産の中心となっており、市内でシクラメンを生産する農家(約35戸)は、日々、栽培技術向上のために切磋琢磨しています。

文責 横浜市農業振興課



横浜農場は、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など横浜らしい農業全体を一つの農場に見立てた言葉です。横浜市では、この「横浜農場」を使い、農業のPRを進めています。



「幸せを創る明日の風景」をテーマに、2027年に横浜市で国際園芸博覧会が開催されます!



プリムラ



ストック



シクラメン



パンジー



ハボタン



過去の会場の様子